

平成 28 年度第 1 回ルール委員会議事録

開催日時：平成 18 年 6 月 19 日（日）10:30～16:00

開催場所：岸記念体育館 101 会議室

<出席者>

委員：増田 開、大村 雅一、前園 昇、松原 次夫、富松 潔、加藤 圭二、石川 雅之、柴沼 克己、日下部 大蔵、榛葉 克也、村松 哲太郎、岡部 幸司、桜井 常雄、山口 泰正、高野 由美子、木内 誠、宮崎 景、稲葉 俊彦、佐藤 百一 計 19 名

顧問委員：周東 英卿、前田 彰一 計 2 名

オブザーバ：望月 1 名

1. <協議>平成 28-29 年度委員会活動計画

平成 28-29 年度委員会メンバー自己紹介の後、増田委員長より、平成 28 年度 JSAF ルール委員会の活動目的と方針、平成 28 年度事業計画及び小委員会構成とその業務分担について説明が行われた。

柴沼委員より、今後オリンピック等の主要大会ではカイトボードが取り入れられる可能性が大なので、ルール委員会内にカイトボードの WG 等立ち上げについての提案があり、増田委員長からは、まずはルール委員会がカイトボード・ルールを率先して認識する必要がある旨の方針が示された。

2. <協議>平成 28 年度小委員会活動計画

ジャッジ、アンパイア、IJ/IU 育成、規定管理、外洋規則、普及の各小委員会から事業計画と委員の役割分担について説明が行われた。

3. <審議>IU/IJ 推薦委員会メンバー

増田委員長より、平成 28 年度 IJ/IU 候補推薦委員会の委員構成について説明の後、議場に諮ったところ、原案通り満場一致で承認可決された。

4. <審議>RRS2017-2020 翻訳方針

前園副委員長より、RRS2017-2020 の翻訳方針について説明された。

Hearing（審問）、Appeal（上告）等、選手とレース・オフィシャルズに上下関係がある様に感じられる現訳語については、既に広く浸透しているものの、本来の位置付けを想起させる訳語とすべきとの意見が出され、WG で協議の上、別途メール審議することとなった。また、今後 WS から原文が発表され、新たな翻訳方針が必要になった場合には、その部分のみ後日審議すること、以上を確認し議場に諮ったところ、全員一致で承認可決された。

その他、規則 18 の boats の訳語について、意味は 2 艇であるも厳格に 2 艇と表現するのは場面想定を却ってし難くする、規則 18.2b のオーバーラップの状態とゾーン到達時の状態を原文の意味に充実にするべきなどについて意見交換がされたが、WG に差し戻された。また、regulation と code の訳について、何らかの訳語で分ける旨の意見がされ、これも WG にて再検討することが決定された。これらは後日メール審議にて決定することとなった。

5. <報告> RRS 改定 WG 報告

前園副委員長より、WG タスク日程の説明があり、翻訳担当は既に認可されたサブミッションの翻訳を予め進めることの確認が行われた。

6. <報告> ルールブック配付方法検討 WG 報告

木内委員より、2017 年 1 月発効の新ルールブックの配付方法について、理事会審議結果報告、価格、電子書籍化等について具体的な検討が進んでいる旨の報告があった。

7. その他<報告>

大村副委員長より、World Sailing の訳語、大谷顧問委員がスポーツ庁によるスポーツ功労者顕彰を授与されることが決まった旨の報告があった。

柴沼委員より、WS 委員の推薦リストに増田委員長、田中委員、柴沼委員、川田委員が推薦されているとの報告があった。

前園副委員長より、7 月に予定されている IJ セミナーに海外からの参加を含めて 24 名の参加者があることが報告された。

以 上